

地方創生は待ったなし

新病院の建設は、単に医療施設を新しくするだけでなく、地域全体を活性化させるための重要なプロジェクトです。このため、これまで病院建設と町の中心地域の整備計画を一体に考えてきました。

しかし、今回の病院建設の延期決定に伴い、持続可能なまちづくりをよりスムーズに進めるため、中心地域の整備計画については、病院建設とは切り離して議論を進めることとしました。

この議論は、10月中にも再開し、今年度から始まった「第3期まち・ひと・しごと創生日南町総合戦略」に基づき、スピード感をもって進めていきます。



中心地整備検討委員会 第1回の様子

病院建設にかかる「2つの候補地」は一旦白紙に

これまで、病院の建設候補地として「道の駅にちなん日野川の郷」裏手と「町総合文化センター」隣の2か所を中心に議論を進めてきました。しかしながら、このたびの決定に伴い、これまで候補に挙がっていた中心地域での建設は一旦白紙に戻し、改めて検討を進めていきます。

町民の皆様へ

町長として、皆様の命と健康を守るという私の信念は、決して揺らぐことはありません。

これまで300人を超える町民の皆様と直接お話をさせていただく中で、私は「早く建て替えてほしい」「安心して通える病院にしてほしい」という切実な願いを何度も耳にしました。同時に、「本当に今、建て替えを進めるべきなのか」「町の財政は大丈夫なのか」といった、皆様の不安や懸念の声も真摯に受け止めてきました。

病院関係者や近隣の首長との意見交換を重ねるたびに、私の心には一つの強い思いが固まっていきました。それは、「日南町には、救急・入院・在宅対応を備えた45～50床規模の病院が必要だ」ということです。

しかし、その一方で、現実を冷静に見つめることも、町長としての責務です。建設費の高騰、国の医療政策の変化、そして将来的な広域医療体制の構築を巡る不確実な情勢など、私たちが直面している課題は山積しています。

今回の「延期」という決断は、決して簡単なものではありませんでした。しかし、町の医療を次の世代へと確実につなぐため、そして何よりも町民の皆様の命と健康を守るために、今、最善の選択であると確信しています。

日南病院は、日南町にとって「最後の砦」です。この大切な砦を守り、より良い医療環境へと進化させるため、私は全力で取り組んでいくことをお約束します。町民、病院、行政が心をついにし、手を取り合って、未来の地域医療を共に築いていきましょう。

引き続き、皆様のご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。

